

高松市立山田中学校 道徳便り 2020



明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。新年、そして新学期を迎え、子どもたちは新たな気持ちで学校生活を送っています。本年度も残り3ヶ月。初心を忘れず、何事にも励んでもらいたいものです。

さて、12月の道徳の週のテーマは「**藍（日本の伝統）**」でした。身近過ぎて、ついつい忘れてしまいそうな和の心について、『食』を通じて考えました。形を変えながらも、少しでも日本の伝統を後世に残そうとする姿勢を大切にしたいと思います。

1年生 「おせち料理」



おせち料理に込められた意味を考え、昔からの伝統には知恵や願いが込められていることを知り、現代の生活にあった方法で受け継いでいくために、自分ができることを考えました。

- 今まで受け継がれてきたおせち料理を一つひとつ大切に食べることやおせちに入っている料理の意味を知ることが大切になりたいです。また、祭りなどに積極的に周りの人と協力するなど、できることをしたいです。
- 私の家は、おせちを作っているのですが、私が大人になったときも昔から続いている伝統を受け継いでいきたいです。一つひとつの具材にも意味があることや昔の知恵も覚えておきたいです。
- 学習をして、おせち料理には一つひとつ意味があり、昔から伝統があるので、「いただきます」「ごちそうさまでした。」を感謝の気持ちを込めて言いたいです。
- 伝統を受け継いでいくために大切にしていきたいことは、一つひとつおせち料理の意味を理解して、心を込めて家族と楽しく食事をしていつもがんばっているお母さんに3日間楽しんでもらえるよう、時間を大切にしてお飯を楽しみます。
- 昔の人から受け継がれたことなので日本の文化をこれからも日本人だけでなく、外国の人にも知ってもらえるようになってほしいです。これからおせちの意味もよく知りたいので調べてみたいです。
- 毎年、家族と一緒におせちを作ったりして、食べるという達成感や一緒に食べる喜びが大切だと思いました。私もお母さんのお手伝いをしているのですが、年を重ねてきたら全部作れるようになりたいです。

2年生 「日本の行事食」



日本の行事食（ひしもちや七草がゆなど）に込められた思いやよさについて理解し、伝統文化を後世に残していくために、どんなことが必要なのかを考えました。

- 行事食には意味があって、続けていけるようにしたいと思いました。日本人として食べ続けたいです。今年は祖母が作る手伝いをして、もっと行事食にふれて自分も作れるようになりたいです。
- 時代が変化していく中、日本の文化を残すのは難しい事だと思います。だけど少しずつ形を変えていく事で日本の文化を少しでも残しやすくなると思います。日本の文化を残しつつ、今の日本にあったようにアレンジしていけばいいと思います。
- 行事食をしっかり意識して食べるようにする。また、行事食の意味を知ることがあると思った。その意味を考えるだけでも行事食を残していくための大事な方法だと思いました。
- 行事食を残していくためには、まず自分達はその食べ物を知ってそれをまわりの人たちに伝えていったり、手伝いをしたり自分の子どもにはめんどいとは思わずに祝ってあげたりして形を変えながら作りつなげていけばいいなと思いました。
- 日本の文化を少しずつ形を変えながらも、継承していく義務があると思いました。一つ一つの意味を知り、自分の子どもにもずっとずっと続けて伝えていきたいです。

3年生 「和食」



ユネスコ無形文化遺産として登録された和食が、なぜ現在の味や形になったのかという歴史に触れながら、伝統文化の継承をどのように進めていけばいいか考えました。

- 和食は、古くから現代にかけて日本で受け継がれ、大切にされてきているということを知りました。現代に生きる私たちも和食を大切に、未来へ「和食」という文化をつなげたいです。
- 今日の映像を見て、和食の良さを知ることができました。たくさんの方が少しずつ工夫を積み重ねることで和食はどんどん良くなってきたのだと分かりました。先人の人たちに感謝し、和食を楽しみたいと思いました。
- 今普通にある日本の料理は昔にいろいろな人がよりよいものを考え続け生まれた努力の結果なのだと分かった。これから和食を食べるときはそのことを意識しながら食べたいと思う。
- 日本の「和食」が三つの革命を経て確立したものだと初めて知りました。昔のルールが今でも食事のマナーとして続いているのはすごいなあと思いました。私は食材を大切にしたいので残さないようにしたいです。
- 一つ一つの料理を作ることに、たくさんの手間をかけているので、味わって残さず食べようと思った。

切り取り線

ご意見欄

お名前

